

『表面技術』表，図の表し方の手引き

(平成 30 年 11 月 2 日改定)

1. 共通の注意事項

- 1.1 ひとつの原稿に使用できる表および図の数は、『投稿原稿作成の手引き』2.11 節に示すように、原稿の種類に応じて制限がある。また、たとえ制限数以内であっても、その内容はよく選択して必要最小限にとどめる。
- 1.2 表および図はすべて A4 判用紙 1 枚に 1 つとして表示する。ただし、相互に関連する 2 つ以上の原図を見苦しくない範囲内でまとめて 1 つとすることは差し支えない。規格外のサイズのものを受け付けない。
- 1.3 表題および説明を原稿下の空白に記す。
- 1.4 各表、図の正本には、その左下隅の空白に著者名を記す。

2. 表について

- 2.1 表は簡潔にわかりやすくまとめる。表の中に特にスペースをとるような複雑な図（例えば写真や有機化合物の構造式）や数式、文章を入れることはさけ、脚注などを使って表としてまとまりが良いように工夫する。
- 2.2 罫線は原則として横罫に限り、その本数は必要最小限にとどめる。ページの片欄に収める場合はスペースも含めて 85 mm 以内とする。通し欄の場合は 180 mm 以内とする。表の番号は **Table 1**、**Table 2** と表示し、表の上に入れる。表を本文中に引用する場合は、**表 1**、**表 2** と書く。

3. 図について

- 3.1 図はそのまま手を加えないで製版できるものでなければならない。
- 3.2 図は、原則としてモノクロ印刷をしても鮮明でかつ図中の線、文字等が判別できるものでなければならない。なお、ページの片欄に収める場合は、横幅は 85 mm 以内に縮小される。文字、記号、数字等の大きさは掲載用に

縮小した時点で 9 ポイント(本文の文字の大きさ)となるように記入する。また、線の幅にも注意する。

- 3.3 グラフは長方形の枠内に描き、その 2 辺をそれぞれ縦および横軸とする。ただし、軸が 3 つ以上のグラフの場合はこの限りではない。軸の説明は軸の中央に明確に記入する。
- 3.4 図は製版後の修正は不可能であるから校正時の修正、加筆は認めない。
- 3.5 図の番号は **Fig. 1**、**Fig. 2** と表示し、図の下に入れる。図を本文中に引用する場合は、**図 1**、**図 2** と書く。

4. 写真について

- 4.1 写真は図として取り扱う。従って原稿はすべて図に準じて作成する。番号も図と一連の通し番号で表示する。
- 4.2 写真原稿は原則としてデジタルデータを使用する。プリント、ネガフィルムおよび他の印刷物からコピーしたものは原則として受け付けない。

5. 解像度と色について

- 5.1 図(写真を含む)は、解像度 300 dpi 以上とする。
- 5.2 冊子版の図は、著者からの申し出がないかぎり、カラーの図であっても、そのままモノクロ印刷する。
- 5.3 電子版(J-Stage)の図は、著者が提出した図の色で公開する。
- 5.4 カラー印刷を希望する場合は、事務局にその旨申し出る。費用は著者の負担とする。

注 図の作成にあたって下記の点にご注意ください。

- a. 薄い色や細い線は、印刷されない場合があります。
- b. 文字や線の輪郭がぼやけている場合は、鮮明に印刷できない場合があります。
- c. 一般的でないフォントの使用にはご注意ください。